リニア中央新幹線　学習会

住宅地と山岳部のリニアトンネル掘削による くらしと環境への影響は？　～橋本と津久井の場合～

と　き　**2019年5月25日(土)　午後1:30～4:30**

ところ　**ソレイユさがみ　セミナールーム1**

橋本駅・徒歩3分　イオン6F

お話し　●　**早川　芳夫さん**　　（資料代500円）

早川さん・プロフィール
都立大学地理学科卒　　自然地理学専攻(水害・災害論)
高校教師として社会科地理を41年間教える。
現在、F1を排除した在来種有機農業実践(相模原市緑区にて)
東京外郭環状道路(外環道)問題にも取り組む。

●報告：「社内の現状−働く者から見えること、思う事」
JR東海労　執行委員長・木下和樹さん

今、橋本では国道16号の下にトンネルを掘るための工事が行われ、県立相原高校がこの3月で移転し、敷地内では木が切られています。また町田から東橋本へと向かうトンネル工事の業者が決まりました。津久井では、国道412号周辺の津久井トンネル（西工区）で業者が決まり、藤野トンネルが最近入札にかけられました。

しかし、これからのトンネル建設は地権者との契約がすべて完了しないと不可能です。また、膨大な残土の処理、地盤沈下、工事車両・トラック通行の問題など発生し、工事は容易にはすすまないでしょう。

トンネル掘削でくらしや環境にどんな問題が予測されるか、学び考えていきませんか。

橋本周辺は住宅密集地
境川の近く

牧馬大滝

牧馬、山の斜面

主催：　リニア新幹線を考える相模原連絡会　　代表　浅賀きみ江

問合せ先：　浅賀　090-4378-9257　　桜井　090－8042－8157　　河村　042-745-7764